

よっ葉だより

2024年
12月16日号
No.818

～地産地消～
いのちと健康くらしを守る
よっ葉生活協同組合

石川県能登半島地震・豪雨災害支援金 ありがとうございます 全国の生協組合員から寄せられた支援を役立てています

よっ葉生協は、全国の生協の仲間と共に支援金募金活動に取り組み、地震災害支援金4,757,300円(1月15日～3月8日)、豪雨災害支援金2,173,600円(9月30日～10月25日)の協力をいただきました。感謝とお礼を申し上げます。日本生協連を通して現地へ届けられています。

全国の組合員からは10月20日までに、216生協から17億円を超える募金が寄せられています。10月からは豪雨災害への募金も台まりました。支援の現場の様子をお伝えします。

募金の使い道(金額は9月現在)

- ① 義援金(石川・富山・新潟の3県)12億1,753万円
全額が被災した人たちに公平に直接、配分されるお金です。各県が設置した義援金配分委員会で配分されます。新潟県に1.4億円、富山県に0.7億円、石川県に10億円の義援金が送られました。
- ② 支援金義援金支援金(社会福祉協議会含む4団体への寄付)800万円
寄付先の団体が判断し被災地の復旧をはじめとしたさまざまな活動に迅速に役立てることができ、石川県社会福祉協議会他、被災地で活動しているNPO法人等に寄付されました。
- ③ コープ被災地支援センター・コープいしかわの取り組み3,529万円

3月以降、全国の生協職員が市町の社会福祉協議会(社協)が運営する災害ボランティアセンターで活動しています。能登町では26生協のべ121人、穴水町では20生協のべ70人。全国の生協職員は、ボランティアセンター支援のほか、コープいしかわの配送トラックへの同乗支援などにも参加しています。10月からは輪島市社協によるボランティアセンターが開設され、生協職員も参加しています。

※コープ被災地支援センター：被災地域の災害ボランティアセンターや民間団体等と連携して支援活動に取り組むため、石川県生協連、コープいしかわ、日本生協連が連携して設置したセンター。

④ その他の支援

物資の支援(ボランティアやサロン活動用の飲料やお菓子や活動団体を通じてお届け)、仮設住宅への「調味料セット」お届け(コープいしかわ組合員理事のメッセージを添えて)。コープいしかわでは、組合員に呼びかけてボランティアを募り、ボランティアバスを運行させています。

よっ葉生協組合員の思い、支援の力は、確実に現地の方々に届いています。ありがとうございます。震災からまもなく1年。暑い夏を越えたところで9月の豪雨災害。重なる被害に打ちひしがれた方は多いことでしょう。よっ葉生協、全国の組合員の温かい気持ちや、多くの生協スタッフが支援につなげています。

< 理事会 >

日本生協連 社会・地域活動推進部 地域コミュニティグループ発行

コープ被災地支援センターニュース

かけほし 能登半島支援の現場から

2024年10月24日 第22号

コープ被災地支援センター、被災地域の災害ボランティアセンターや民間団体等と連携して支援活動に取り組むため、石川県生協連、コープいしかわ、日本生協連が連携して設置したセンター。

今週の特集記事

輪島市特集
生協、輪島市に支援に入る!

コープ被災地支援センターの輪島市災害たすけあいセンター運営支援に協力をいただきました。ありがとうございます。

10月24日から12月2日(第1タームから第6ターム)までの募集は応募多数により満員となりました。次号より活動を掲載させていただきます!

9月20日からの豪雨災害により被害を受けた輪島市に対し、全国の生協と一緒に10月24日から本格的な支援活動に乗り出すために、10月4日からコープいしかわと日本生協連の先遣隊が輪島市社協と連携して災害ボランティアの受け入れや、被災地の状況把握に努めています。輪島市社協の災害たすけあいセンターでは、1日100名を超えるボランティアが寄せられ、なりながら働き作業を中心に活動している状況です。生協の先遣隊は、災害ボランティアの受け入れ、被災者の受け入れ、作業資材の整備選定など、多岐にわたる支援活動を行っています。

大地震と豪雨災害のダブルパンチにより、ボランティアセンターの状況は日々変化しています。生協のスタッフは、地元の社協職員をはじめ、様々な関係機関と連携し、被災者のニーズに迅速に対応するため、最大限の努力を続けています。今回の支援活動を通じて、生協は今後も、被災地の復興を支援していく決意を新たにしました。

輪島市災害たすけあいセンター
輪島市ボランティアセンター

輪島市のボランティアセンター運営支援と災害ボランティアの受け入れや、被災地の状況把握に努めています。輪島市社協の災害たすけあいセンターでは、1日100名を超えるボランティアが寄せられ、なりながら働き作業を中心に活動している状況です。生協の先遣隊は、災害ボランティアの受け入れ、被災者の受け入れ、作業資材の整備選定など、多岐にわたる支援活動を行っています。

大地震と豪雨災害のダブルパンチにより、ボランティアセンターの状況は日々変化しています。生協のスタッフは、地元の社協職員をはじめ、様々な関係機関と連携し、被災者のニーズに迅速に対応するため、最大限の努力を続けています。今回の支援活動を通じて、生協は今後も、被災地の復興を支援していく決意を新たにしました。

輪島市の仮設住宅の浸水状況

輪島市ボランティアセンターが設置されているワイプラザの横に広がる仮設住宅はかなり浸水したそうです

豪雨前、この仮設住宅はほとんど入居されていたそうです。床上まで浸水し、今はみんな避難されているそうです。建物修理し再入居は来年になるようだと言われました。

誰も住んでいない無人の仮設住宅と、水害での物の散乱、増水水位の跡が心に残っています。震災から立ち上がり「これから」という人たちに、再度襲いかかった水害に、これから被災者への心のケアをどうすれば良いのか考えてしまいます...

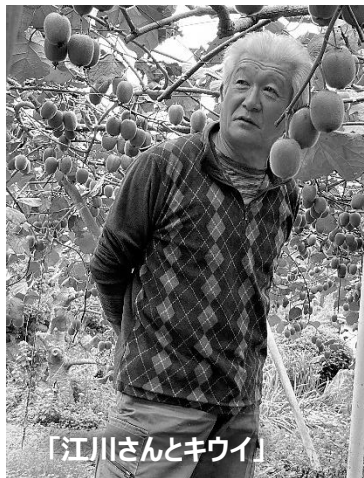
空ガラスに水が浸ったところ(水位の線)が残っています。床上浸水です。

そして現在の輪島市 朝市の場所は...

ガレキは少しずつ撤去されていますが、復興にはとても時間がかかりそうです。

情報提供：日本生活協同組合連合会 社会・地域活動推進部

40年来の産直生産者、キウイでお馴染み「江川農園」



「江川さんとキウイ」

11月12日、神奈川県・小田原市にある、キウイでお馴染み♪江川農園へ視察に行ってきました。よつ葉設立以来、40年以上！よつ葉生協に化学肥料・化学合成農薬不使用で栽培されたキウイを届けてくれています。小田原は隠れフルーツ天国！！相模湾を望む段々畑、海に向かって足柄平野を見下ろす曾我の山々、温暖な気候でみかんや、梅、キウイ栽培が盛んな地域です。江川農園もキウイ以外にも大津みかん・青島みかん(貯蔵みかん)・たまねぎを取り扱っています。

今年のみかんは全国的に不作…。江川さんのところも例に漏れず、成ったミカンの数が少ないそうです。温暖化のせいか、今までいなかった害虫(ミカンナガタマムシ)も増えており、減農薬・ネオニコ不使用で栽培しているみかんの樹には影響が大きく出ています。また、イノシシ被害が多い…。訪問当日も1頭罫にかかっていた。獣害は対策が難しく悩みの種です。そして、8月終わりの台風10号で神奈川県は多くの被害が出たことは記憶に新しいのですが、江川さんの圃場も一部石垣が崩れている箇所も見せてもらいました。

江川さんのキウイのおすすめポイント！！

- ・有機認証は取っていないが、化学肥料・化学合成農薬不使用！
- ・追熟してから納品されるため、届いてすぐ食べられる！
- ・大玉が多い！甘い！！

小田原で別の生産者の圃場を見てみると、圃場の中に入る光が無く真っ暗…。キウイの枝はどんどん伸びていくので、管理が大変。江川さんは、大玉にする為に夏の暑い時期に剪定を行っているので圃場内は明るく管理され、枝の数が制限されるため、玉は大玉傾向に。そんなキウイの果肉は濃いきれいな緑色になるそうです。また、キウイは追熟すると糖度は倍になるので収穫時期もギリギリまで待ち糖度が8度位になるまで待ってから収穫。キウイの糖度は10度から18度のものが一般的には出回っているの、上位の約18度のものをお届けされていることに。子供たちが喜んで食べるわけです。



「土砂くずれ」



「イノシシ被害」

5月に予定している玉ねぎは下中たまねぎという小田原のブランドたまねぎ。甘くとろける知る人ぞ知る玉ねぎ！多くのテレビ番組で特集されてきたそうです。なににも使えるたまねぎの3kg箱入り。「くらら」で見つけたらお試しください。

産直が始まった当時のご自分でよつ葉生協まで3時間かけて納品に来てくださり、物流が進んだ現在も、物流が難しい年末年始などは直接よつ葉生協まで足を運んでくれています。年明けは神奈川県で作られた品種「湘南ゴールド」を企画できるかもしれません！楽しみ！息子さんも7月より正式に後継者として就農予定との事。耕作放棄地を借りみかんの圃場にしていくそうです。

農産物は気候変動により年々難しくなっています。中でもつながりを大事にしてくれる生産者との関係はこれからも続けていきたいと感じました。



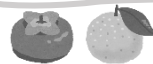
「罫にかかったイノシシ」

今年の秋・冬果物の状況



梅でお馴染み大紀コープファーム

柿・ゆず



今年の柿は不作。傷みも多く申し訳ない。また、柚子も全くなっていない。企画できない週が出来てしまいます。

無茶々園 みかん～晩柑

2024年11月4日 無茶々園の社長である大津さんはじめ3名が、今年の状況を説明する為によつ葉生協まで来てくれました。今年は裏年というだけではなく、昨年の水不足が原因で、みかんは昨年の6～7割減少。中晩柑は5～7割も収穫量が減少する見込みとの事。気温が下がらないことで着色の遅れ、糖度が上がりにくくなりました。また、カメムシが多かったことも影響しています。

アップルファームさみず りんごのふじ

2024年11月上旬 アップルファーム代表山下さんより連絡が入り、今年は昨年より状況は良かったのだが、今になって輪紋病をはじめ病気の発生が晩成種で酷くなったとの事。その後、再び連絡が入り、病気が広がり品種を選んでいられない。小玉のりんごもない。3月まであった企画を1月までしか出せなくなってしまったとのことでした。

全国様々な産地・果物で不作となっています。原因はやはり気候変動。就農人口の減少、気候変動により農作物の収穫量は減少傾向にあります。しかし、命に係わる第一次産業は衰退してはなりません。りんご王国の青森県・津軽産直は、未来を見据え、新たな栽培方法に着手しています。早期・多収穫できる「高密度栽培」をスタートさせ、新規就農者でも可能な栽培方法を確立させるため動いています。江川農園も、みかんではまだ少ない「わい化栽培」(樹を大きくせず樹木間を狭くし、管理しやすい栽培方法)を予定しているとの事。近年、産地のたゆまぬ努力と技術進化のおかげで品物を購入することができています。これからも産地の情報を伝えていきますので、応援よろしくお祈りします。



文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

宇都宮 栃木の食に愛を届けるプロジェクト 第2弾 子どもたちにもっと安心な給食を
「夢みる給食」上映&お話し会

日時 2025年1月19日(日) 13:30~16:00
会場 バルティとちぎ男女共同参画センター・ホール
(栃木県宇都宮市野沢町4-1)
入場料 大人1000円(高校生以下無料)
※親子参加の場合100円割引
お支払いは当日受付にて現金でお願いいたします。
定員 先着300名(要予約)
後援 宇都宮市、宇都宮市教育委員会、下野新聞社、
よつ葉生活協同組合

子どもたちが食べる給食を、私たちができる最高のものにしたい！
学校給食は子どもたちの健康と地域農業、そして環境にもつながっています。
この上映会&お話し会を通じて、子どもたちと一緒に「食の大切さ」について学び、考える機会になれば幸いです。
みなさまのお越しをお待ちしております！

主催・申込み・問合せ
とちぎ夢給食プロジェクト
TEL 090-5413-2277(代表 安田)
メール yume.kyushoku@gmail.com



よつ葉文庫 新刊登録

NO.1326 『おとうとのねじまきパン』ずっとむかし、満州という国であったこと
高橋 うらら著、合同出版

小学校高学年から対象になっています(ルビ付き)ので、読みやすく理解できます。最初に『満州』という言葉聞いたことがありますか?と読者に問うています。続けて「かつて日本が中国大陸につくった国の名前です。しかしなぜか、現代の人たちは、この国のことをほとんど知りません。」とあります。私は、満州はもともと中国にあった地域名だと思っていました。著者の高橋さんが、満州にわたり終戦時に日本に引き揚げてきた青柳定郎さん、原和子さんの体験をまとめて出版しました。日本が中国へなぜ侵攻したのか、満州へ渡った人々はどのような生活をしてきたのか、終戦後どのように日本に戻れたのか、そして戻れなかったのかを、原和子さんの生活を通して再現しています。

なぜ「おとうとのねじまきパン」と表題にしたのでしょうか? 著名な高橋うららさんは児童文学作家で、戦争や動物福祉など、命の大切さを執筆されています。やさしく、事実を描写しています。当時の写真も掲載され、生活状況が想像できます。中国残留孤児、中国残留婦人は、命を救うための最後の手段だったのです。(顧問 富居)

<よつ葉文庫の感想をご紹介します>

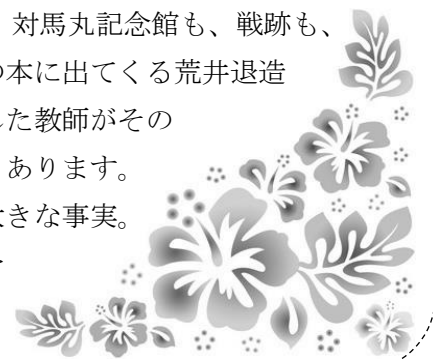


NO.1318 「蕾のまま散りゆけり 対馬丸から生還した牧師の魂を娘が辿る」

まずは、よつ葉さんに文庫制度があるのにビックリ、感動でした。ありがとうございます。

沖縄は好きです。空気も、自然も、においも、風も、森も・・・ここ20年、年に1~2度行ってます。対馬丸記念館も、戦跡も、毎回探しては行き、本などもそれなりに見、テレビで沖縄と出れば必ずというほど見えています。この本に出てくる荒井退造さんのこともかなり前から知っていました。それが・・・栃木県しかも近くの大平町に対馬丸から生還した教師がその後暮らし続けていたとは・・・全く知らず、衝撃でした。沖縄に帰れなかった苦悩・・・察すると余りあります。医師のお父さんのことと合わせ娘の上野かずこさんが辿った両親の歴史、戦争、そして対馬丸に関わる大きな事実。今生きる人々には是非読んでほしいと思いました。すでに友人たちに話したら、皆身近な話に驚きと関心を持ってくれました。

(R・Tさん)



NO.1310 新・地球とからだに優しい生き方暮らし方

今の会と環境の汚染問題が余りにも恐ろしさを感じたと同時に知らないこと、知らされていないことが分かりました。

命に係わることなので出来るところから周囲の方々へも伝えていきたいと思いました。一番ほっとしたのが遺伝子組み換え食品を反対している世論に耳を傾けてくれた点です。でも安心せず、自分で選んでやっていきたいと思えます。(S・Fさん)

よつ葉文庫のご案内

貸出期間は2週間、新刊登録の本は、当分の間1週間となります。

「よつ葉文庫」は組合員のための図書室です。どんな本があるのか?リストはHPでご覧いただけます(トップページ→組合員の方へ→「よつ葉文庫」のアイコンをクリック)。借りたい本は、注文書のご意見ご要望欄に本のナンバー・題名・貸し出し希望を記入して、配送員にお渡しください。翌週、配送と一緒に本をお届けするのが基本ですが、貸し出し希望が多い本の場合お待ちいただくこともありますので、ご了解ください。

広がれ！ よつ葉の輪 秋のお誘いキャンペーン

358名の組合員さんをお迎えしました

秋のお誘いキャンペーンでは、組合員の皆さんにはおうちカフェやお友だち・お知り合いへのお誘いなどでお声がけいただきました。ありがとうございました。期間中は、よつ葉生協の8つの営業所や配送員もお勧め活動を行いました。各地の即売会やイベント、宇都宮マルシェ、足利マルシェやふれあいまつりで商品を実際に手に取っていただき、よつ葉生協や商品を知ってもらうことができました。期間中には358名の組合員をお迎えしました。

ご加入後も、コープメイトが戸別訪問をしてフォロー活動を行っています。よつ葉生協のInstagramでは地域でのイベントを発信しています。お近くで開催の際はどうぞお立ち寄りください。これからも私たちと一緒によつ葉の輪を広げていきましょう。



組合員さんの声

(よつ葉だよりNO.813の記事へのご感想です。)
 ごぼうの町田さんご夫婦で92才!! すごい!!
 一旦「くらら」からさよなら~だそうで、とても残念ですが、時々「特別片版」で扱ってもらえると嬉しいです。神のごぼう...
 たんてね。今後もどうぞお元気で。
 ありがとうございました。

(古河地区 Y.Oさん)



ありがとう
 ございました。

第33回よつ葉ふれあいまつり ご来場ありがとうございました!

11/23(土) 小山総合公園



67社の生産者、メーカーが出店、約3000人のご来場があり、大盛況で終了しました。

ふれあいまつりの様子は、次号でご報告します。

<よつ葉だより休刊のお知らせ>

年末年始のため12月30日号~2025年1月13日号のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。ご理解の程よろしくお願い致します。



とちぎ/ ジョブカレ! とちぎジョブカレとは...とちぎで優れた技術・技能を学び、活躍できるよう、専門学校等の人材育成機関への進学から就職までを一貫して支援する栃木県の取組です。

希望の仕事に就きたい!
 技術習得・資格取得
 進路にお悩みありませんか?
相談受付中
 専門の資格を持つ相談員が、「なりたい自分になる」ためのサポートを行います!

相談無料
 要予約

対象
 ・希望の仕事に就くための技術習得や資格取得に向けた進路にお悩みの方
 ・進路指導をしている教員、保護者

相談方法(要予約)
 電話 オンライン
 メール 対面

とちぎジョブカレ! 相談窓口

電話 028-612-8643 ((株)ワークエントリー 吉田)

利用時間 月曜~金曜 8:30~17:15
 土・日・祝日、年末年始: 休み

相談申込はこちら

「よつ葉生協は、栃木県生協連と栃木県との包括連携協定に基づき、県の広報に協力しています」

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (12月1週分)
 ご協力ありがとうございます。
 組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	4,600
震災孤児を支援する募金 (910番)	19,600
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	8,500
合計	32,700

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223
 ☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101
 HP <https://yotsubacoop.jp/>
 よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp

